

2022年7月5日
株式会社ダスキン

7月7日は“みんなで地球のことを想う日” クールアース・デー 本社ビル等ダスキンの施設 5カ所でライトダウンを実施

株式会社ダスキン（本社：大阪府吹田市、社長：大久保 裕行）は、地球温暖化防止の取り組みのひとつとして、7月7日（木）の「クールアース・デー」に、ダスキン本社ビルを含むダスキンの施設 5カ所でライトダウンを実施します。

毎年7月7日は、みんなで地球のことを想う日「クールアース・デー」です。2008年のG8サミット（洞爺湖サミット）が日本で7月7日に開催されたことを機に定められ、天の川を見ながら、家庭や職場において、地球環境の大切さを再確認し、それぞれができる地球温暖化対策の取り組みを推進するための日として設けられました。

当社では同日、**CO2排出量を削減するとともに、当社従業員や近隣の皆様が地球環境について考えるきっかけづくりを目的としてライトダウンを実施**します。

ライトダウン実施日時	2022年7月7日（木）19時～翌朝まで
ライトダウン実施施設	ダスキン本社ビル（大阪府吹田市豊津町 1-33） ダスキン大阪中央工場（大阪府吹田市南吹田 4-19-5） ダスキンスクール、ダスキンミュージアム（大阪府吹田市芳野町 5-32） ダスキン誠心館（大阪府吹田市江坂町 3-26-3）



ダスキン本社ビル



ダスキンスクール



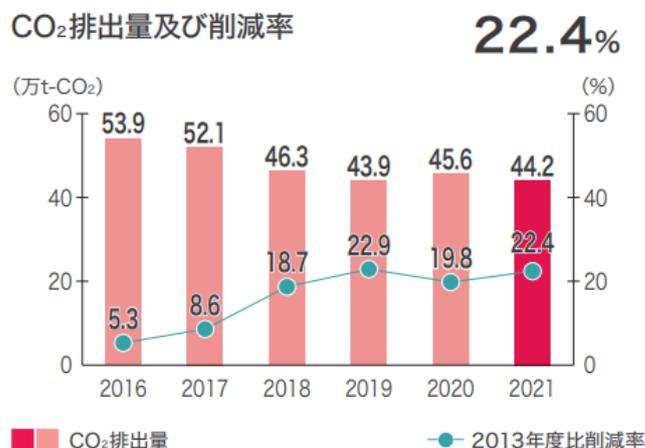
ダスキン大阪中央工場

実施内容	屋外の電灯・看板、一部フロア等の消灯 ※一部通行等安全上必要な場所は除く
------	---

ダスキンは、今後もサステナビリティに関するさらなる取り組みと情報発信に努め、企業活動を通じて持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

《参考資料》ダスキンの地球温暖化問題への取り組みについて

当社では、環境方針で掲げた循環型社会づくりや脱炭素社会の実現に貢献することを目指し、2030年度までの環境経営における目標「ダスキン環境目標 2030（DUSKIN Green Target 2030）」を策定。2030年度までにCO₂排出削減目標を2013年度比26%から46%に引き上げ、温室効果ガスの削減に重点的に取り組んでいます。



■ 生産事業所でのCO₂排出量の削減

使用済のモップを洗浄・リサイクルする生産事業所では、省エネ設備の導入、既存設備の定期メンテナンス、設備運転の効率化によるエネルギーロス削減、節電などを行うことでCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

■ 太陽光発電システムの導入

当社の直営拠点では、太陽光発電設備を導入し、再生可能エネルギーの使用により化石燃料由来のエネルギーの削減に努めています。

研修施設であるダスキンスクールでは、壁面ガラスの一部に太陽光発電パネルを採用し、2010年より発電をスタートしました。2013年には大阪中央工場で太陽光発電システムを導入し、約350枚のモジュールを設置して、最大出力100kW規模の発電を行っています。

さらに訪販グループの直営拠点へも太陽光発電の導入を開始しました。これにより再生可能エネルギーの有効活用を図るだけでなく、災害による停電時には、地域の対策拠点としても利用できます。今後も順次導入を行ってまいります。



ダスキン大阪中央工場屋上に設置された約350枚のモジュール

■ 営業車両使用時における CO2 排出量の削減

商品やサービスのお届け時に使用する車両については、低公害車の導入を推進。運転時もエコドライブを心掛け、CO2 排出量の削減に努めています。

生産事業所では、運用管理システムの記録を基に省エネ運転を励行。地域毎に勉強会を開催するなど、エコドライブの浸透を図っています。さらに、配送ルートの見直しにより、輸送効率を改善し、CO2 の削減に努めています。

■ ミスタードーナツショップでの CO2 排出量の削減

空調の設定温度や照明の必要箇所の見直し、バックエリアのこまめな消灯や水道光熱メーターの管理など、ショップの日々のオペレーションの見直しで省エネ化し、環境への負荷を低減しています。

ショップに導入される冷凍・冷蔵機器も省エネタイプを標準導入するとともに、新規でオープンするショップでは LED 照明の設置を標準化し、既存のショップでも改装などの際に LED 照明へ交換を進めています。

また、機器の清掃・メンテナンスを定期的の実施し、機器本来の能力を維持すると共に、2015 年度よりエネルギー管理を導入し、さらなる電力使用の削減に努めています。

※ダスキンが取り組む CO2 排出量削減の取り組みはこちら

<https://www.duskin.co.jp/sus/ecology/savingenergy/>